

# あなたと議会

議会報告会・意見交換会を  
市内8地区で開催しました!!



2017  
196号  
8月25日発行

市政を問う  
議会からあなたへ



新緑の目差しの中で  
撮影場所:鹿沼市栃窪



「野の花」  
撮影場所:鹿沼市下武子町

撮影者:荒井 正行 議員





平成29年度 市内8地区で開催しました

昨年度に引き続き、今年度は5月15日～18日と8月4日の5日間、議会報告会・意見交換会を市内8地区で実施しました。ご参加いただいた皆様と、各会場では活発なやりとりが繰り広げられました。ここでは、その内容を抜粋してご紹介いたします。

～もっと「議会」を身近に～

# 特集 議会報告会・意見交換会

地区別参加者

(人)

開催地区	実施日	参加者数	男性	女性
南押原	5月15日(月)	27	25	2
北部	5月16日(火)	23	22	1
板荷	5月16日(火)	23	22	1
東大芦	5月17日(水)	28	25	3
栗野	5月17日(水)	35	33	2
加蘇	5月18日(木)	22	17	5
東部台	5月18日(木)	20	17	3
粕尾	8月4日(金)	17	12	5
合計		195	173	22



議会報告会・意見交換会では、議会の主な活動等を説明・報告するとともに、参加者からのご意見・ご質問にお答えしました。

■議会の傍聴について

【質問】 鹿沼市議会の定例会は年間4回開催している。私たち一般市民が傍聴することはできるか。

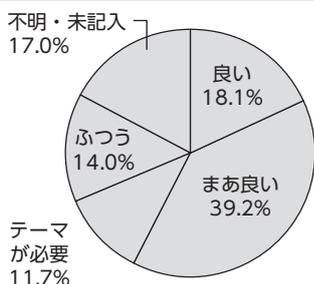
【回答】 市議会定例会は3月、6月、9月、12月と年4回開催されています。傍聴のルールを守っていただければどなたでも参加できます。ぜひ傍聴にお越しください。

■通年議会について

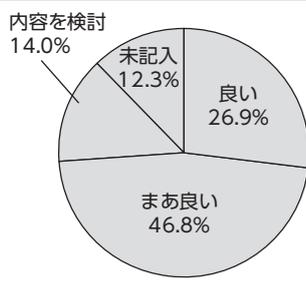
【質問】 通年議会について、議会で検討した経過はあるのか。定例会以外に臨時会を開けば良いかもしれないが、1年を通じて対応するということが、議会と執行部に求められているのではないか。

【回答】 通年議会は栃木県議会でも採用しましたが、地方議会ではまだ研究段階であり、本市においても議会改革調査特別委員会などで取り上げ、十分に研究、勉強してから進めていきたいと思っております。

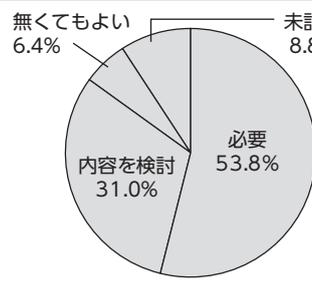
意見交換会の内容



議会報告会の内容(活動概要)



議会報告会の内容(議会の概要)



グラフで見る  
議会報告会・意見交換会  
アンケート結果

■議員定数について

**質問** 26人から24人へと削減したが、今後、人口減少していくことから20人くらいが妥当なのではないかという声が多くある。議会としての考えを知りたい。

**回答** 鹿沼市は広い面積があり、市道が奥深くまであり、山や沢があり、地域の違いによる課題も多様化しています。それらのことを勘案しながら決めていきたいです。

**質問** 定数の問題では、1丁が発達している中、本市は面積が広いとかどの地域の代表だとかいうのはおかしい。もっと広く市全体の発展のために活動してほしい。

**回答** 議員は執行部を監視し、評価し、提言していくという大事な仕事があります。もっと定数を少なくしても良いという考えもあると思いますが、新しい人材、新しい芽吹きも育てていくということもひとつ考えに加えてほしいと思います。



■総合計画検討特別委員会の提言について

**質問** 総合計画検討特別委員会で精力的に議論を交わし、市長に提言したとなっている。その中で子どもの安全対策の充実とあるが、どんな内容を調査して議論をしたのか。

**回答** 子どもの安全安心は、行政としてもいろいろな角度から広く対策を考えています。防犯カメラ、防犯灯、見守り隊の充実と安全対策などが重点となっています。議会としても子どもたちを守るために、しっかりと要望していきます。

■地域の夢実現事業について

**質問** 地域の夢実現事業は具体的に議会ではどのような話で通過しているのかよくわからない。これから各地区で行われる説明会の前にどうなっているのか教えてください。

**回答** 自主財源の1%、つまり1億4千万円を地域のために使

う事業です。現在、既に自治会活動に分配している費用が1億円、防犯灯のLED化などを差し引くと新たに地域の夢実現事業に使えるのは約3,500万円と言われています。それぞれの課題を解決するために必要な予算を算出して手をあげます。その第1次の審査の届出が7月末にあります。今年初めての試みなので、9月末にも2次募集するようです。

**質問** 防災のシミュレーションについて シミュレーションなどの計画はあるのか。実際にシミュレーションしてみると違っていったこと等に気付くのではないかと。

**回答** 防災シミュレーションは、市が自治会協議会と連携をとりながら、毎年一回は市内一地区で避難訓練を行っています。

■災害情報の伝達について

**質問** 災害情報の伝達について、更なる伝達方法及び内容の充



実・強化が必要となる。」とされているが、具体的にどのような課題が生じていたのか。

**回答** 災害情報や避難指示などがなかなか伝わらなかったことや、避難所が開設されなかったこともあったようです。ケーブルテレビによる確かな情報発信など議会としても提言していきます。

将来直面する福祉関係の話題をもっと多く聞きたかった。

このような機会を増やしてほしい。毎年開催してほしい。

地域の防災力の強化を含め、良い検討及び協議をしてください。

議員は一部の地域ではなく、鹿沼市全体を考えて行動することを再認識してほしい。

議員の議会開会中以外の政務活動内容を公開してほしい。

議員に接する機会があって身近に感じて良かった。

財政が厳しいとは思いますが、もう少しお金を使って鹿沼市を活性化させてほしい。



参加者の声

皆様から頂いたご意見の一部を紹介します。

多くの皆様にご参加いただき有難うございました

広報広聴委員会  
委員長 大貫 毅

「開かれた議会」を目標にスタートした議会報告会・意見交換会ですが、平成29年度は8地区で実施しました。鹿沼市議会の今の姿を少しでも皆様にお伝えできたら幸いです。皆様にはお忙しい時間にご参加いただき誠に有難うございました。厳しいご意見や激励のお言葉、ご要望をたくさん伺うことができました。

これらの貴重なご意見・ご要望にお応えできるよう議会活動に真摯に取り組み、政策への提言や提案等に反映させていきたいです。今後皆様との交流を通して、議会の機能を高め、活力ある発展を目指していきたいと思っております。



# 市政を問う

## 高齢者運転の安全対策について伺う



第2回定例会で15人が登壇  
鹿沼市政について質問をしました。



### 質 問

高齢者の事故防止の対策と運転免許自主返納者の現状と返納した人に対する対策について伺う。

答 弁(市長)

栃木県初となるリーバス・予約バスの「終身無料乗車券」の交付を実施したいと考えます。

本市では、高齢者に対する交通安全対策として、「子どもや高齢者に優しい3S(スリーエス)運動」をスローガンに掲げて、市内全域での啓発・周知を行っています。今後も老人クラブや高齢者サロン等において交

通安全講習会を開催するほか、高齢者ドライバー教室等に参加を促し、高齢者に対して危険性の確認や交通安全意識の高揚を図っていききたいと考えています。

また、免許自主返納の現状は、平成27年度177件、平成28年度は229件であり、年々増加している状況にあります。平成20年

4月に運転免許自主返納支援事業を開始し、平成22年6月より、65歳以上の自主返納者にリーバス・予約バスの1年間無料乗車券を交付しています。実績は、平成27年度は100件、平成28年度は131件、平成29年度では、4月

5月の2カ月間で既に33名の方に交付しました。

今後は、自主返納を更に促進し、高齢者運転による事故防止を図るため、質問の趣旨も踏まえつつ、栃木県内初となるリーバス・予約バスの「終身無料乗車券」の交付を実施したいと考えます。



▲リーバス・予約バス終身無料乗車券



未来の教育環境について  
伺う



質 問

コミュニティ・スクールについて伺う。

答 弁(教育次長) 平成31年度の本格導入に向け、今年度から準備検討を開始しました。

子どもは地域で育ち、地域に育てられるものであり、学校は地域の歴史や文化・風土を大切に、地域の人材や資源を積極的に活用しながら創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する必要があります。そのため、鹿沼市教育ビジョン基本計画Ⅱ期では、基本目標1「生きる力を育む教育の充実」の主要施策

教育行政について伺う



質 問

小・中学生の貧困について伺う。

答 弁(教育長) 就学援助制度により費用の援助、地域未来塾により学習の支援をしています。

本市では、保護者が就学援助制度を申請し、経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して援助をしています。要保護・準要保護の実績としては、平成28年度が545名、平成27年度が561名です。次に、就学援助に認定になった世帯に対して、援助できる費用で全学年共通のものは、学習

として、「地域に開かれた学校づくり」の中にコミュニティ・スクールの導入を位置付けました。これからの学校は、保護者や地域住民とお互いの情報や課題を共有し、「これからの時代を生きる子どもたちのために」という共通の目標を持ち、同じベクトルで日々の教育活動を進めていく必要があります。

教育委員会では、今年度モデル校として数校を指定する予定であり、平成31年度の本格導入に向け、準備検討作業を開始したところです。来年7月には制度の理解を深めるため、また保護者や地域住民等との協働によ

品費、学校給食費、虫歯治療費、眼鏡購入費助成等の医療費があります。このほか、宿泊学習等のある学年に対しては、校外活動費、新1年生に対しては新入学用品費、修学旅行のある学年には修学旅行費を支給しています。就学援助制度は、市のホームページや広報かぬまでお知らせしているほか、新入学保護者説明会や学校内での個別相談対応をしています。

また、平成27年度から、経済的理由などにより学習が遅れがちな中学生を対象に学習支援を行う「地域未来塾」を開催しています。今年度は、小学4年生

コミュニティ・スクールとは  
学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律(地教行法第47条の6)に基づいた仕組みです。  
コミュニティ・スクールには保護者や地域住民などから構成される「学校運営協議会」が設けられ、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べるといった取り組みが行われます。

から中学生を対象に保健福祉部と調整を行い「子どもの学習支援事業」と一体実施する形で民間委託により開催しています。更に、教育委員会の「地域未来塾」事業は、中学生を対象に夏休み期間中に科目を数学・英語に限定して実施予定です。



大島 久幸 議員

鹿沼市における地方創生の推進について伺う



質 問

企業版ふるさと納税について伺う。

答 弁(市長) 現在、3企業から合計70万円の寄附の約束をいただいています。

まず、企業版ふるさと納税の現在の寄附状況は、6月1日現在、3企業から合計70万円の寄附の約束をいただいています。また、企業名は今公表を希望される場合は、市ホームページで紹介しているほか、市広報紙への掲載も予定しています。

次に、PR方法ですが、5月1日から市ホームページでの申

込み相談を開始し、広く寄附を募っているところです。

本制度は、対象が「市外に本社機能を置く企業」であることから、対象企業の多い鹿沼工業団地総合管理協会の平成29年度定期総会に招かれた際、本事業のPRをしてみました。今後このような機会を活用し、トップセールスを実施していきたいと考えています。また、地方創生に関する包括連携協定を締結している鹿沼相互信用金庫にPR協力を依頼したところです。

本事業は、寄附による財源確保という効果はもちろんのこと、広く企業に呼びかけることで、

本市の施策等を知っていただき、知名度アップが期待できる一方、企業側にとっても寄附という形の社会貢献として企業のイメージアップにつながる事業です。で、今後も積極的に制度を活用いただけるようPRに努めていきたいと考えます。



▲市ホームページ「企業版ふるさと納税」

小島 実 議員

災害対策について伺う



質 問

地域防災対策について伺う。

答 弁(総務部長) 各自主防災会や自治会の班や組などに災害対応を任せることが理想です。

本市には、145の自治会があり、うち106の自治会で自主防災会が組織されており、自治会単位の組織率は73.1%です。なかには、複数の自治会で1つの自主防災会を組織しているところもあります。自主防災会の規模は、大きいところでは2,000世帯を超える一方、小さいところでは20世帯程度のところもあります。

自治会単位よりも小規模な防災組織、20人以下の小規模な組織であれば、決断も対応もよりスピーディーに行われると思います。しかし、現在の組織化された自主防災会を更に細かく分けるとなると、自主防災会の数が大幅に増えてしまい、市からの支援、例えば資機材の支給などが行き届かなくなる恐れがあります。そこで、既存の自主防災会を細分化するのではなく、各自主防災会や自治会の中の班や組などに災害対応を任せることが理想だと考えます。各自主防災会や自治会の会長も班などが

決断を下して対応するようにな

れば、会長の負担が軽減されると思います。

本市では、地域防災力の向上を図るため、今後も引き続き先進市の運営支援のあり方などを調査・研究し、自主防災会の負担緩和と市民の安心安全につなげていきたいと考えます。



就学援助について伺う



茂呂山の整備と活用推進について伺う



**質 問**  
 年度前3月支給について伺う。  
**答 弁 (教育次長)**  
 今年度中の実施に向け、検討していきたいと考えています。

就学援助制度における入学準備金等について、経済的に困窮している児童生徒の保護者に対して、小中学校の入学に際し、入学準備金を支給することで、その準備に係る費用の一部に充てていただくためのものです。支給の方法は、保護者からの申請に基づき、入学準備金の認定要件に該当した保護者に対して金銭による支給をしています。

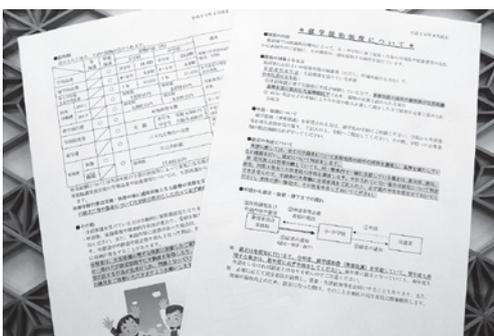
**質 問**  
 茂呂山山頂の展望台を含めた活用について伺う。  
**答 弁 (経済部長)**  
 今後、自然とバランスをとりながら実施していきます。

茂呂山は、平成9年度に生活環境の保全林整備地として、15.67ヘクタールが保健保安林の指定を受けています。伐採については、とちぎの元気な森づくり県民税事業による間伐事業を例年実施してきました。今後も、眺望の改善による利用者の増加を目指し、引き続き間伐を実施していきます。

国の要保護児童生徒援助費の補助金のように、要保護生徒に対しても入学前に支給できないかについて、本市の就学援助の認定は、6月に前年の所得が確定し、その後、所得調査を行うため、認定時期は早くても6月末ごろになります。このため、要保護になった児童生徒の保護者に新入学児童生徒学用品費を支給する時期は7月ごろになります。今回、平成29年3月31日に、国の要保護児童生徒援助費補助金等の要綱の一部改正があり、本市においては、入学前の適切な時期に入学準備金を支給することについて、栃木県

茂呂山は市街地に隣接し、野鳥が生息する自然環境があるため、市民に健康増進と憩いを提供する場として整備を進めてきました。360度の眺望の実現やベンチの設置、芝生広場などの整備に当たっては、希少な野鳥や昆虫・植物の生息を守るため、今後も自然とバランスをとりながら実施していきます。

次に、フィールドアスレチック施設等の開発についてですが、鹿沼インターチェンジからも近く、鹿沼市花木センターに隣接する立地でもあるため、過去に東京都の民間会社から施設整備の相談がありました。残念なが



▲就学援助制度のパンフレット



▲茂呂山の山頂展望台

内他市町の状況を参考にしながら、今年度中の実施に向け検討していきたいと考えています。

ら事業の話は進みませんでした。今後、地元の見解を聞きながら、専門民間事業者の導入を目指したいと考えています。

工業専用地域について伺う



質 問

① 鹿沼あさひ台工業団地周辺の道路整備について伺う。

② 茂呂地内工業専用地域の都市計画道路について伺う。

答 弁 (都市建設部長) 市道0328号線の整備終了後、3・4・208号団地縦貫通りの整備を進めていきます。

① 市道7025号線は、あさひ台工業団地北側入り口から幹線市道0017号線への連絡通路で、幅員5メートルで整備は完了しています。現在、市道再整備計画はありませんが、近年大型車両の通行も多く、車両の

すれ違いや歩行者等の安全性に課題があると認識しています。

本路線については、鹿沼あさひ台工業団地等の関係者の話を伺うなど、調整を図りながら、安全性を向上させるための整備を進めていきたいと考えています。

② 本市の都市計画道路は、計画決定路線28路線、延長8万7000メートルであり、うち未着手路線は3・4・207号鹿沼駅裏通り及び3・4・208号団地縦貫通りの2路線で、延長1,730メートルです。また、平成29年3月末時点において、整備済み延長は5万7,600メ

ートルであり、整備率は約71.4%です。現在整備中の路線は、3・4・211号鹿沼駅東通りを含む5路線で、延長は7,189メートルです。現在、茂呂地内工業専用地域内の市道0328号線の整備を進めており、本路線が終了した後、3・4・208号団地縦貫通りの整備を進めていきたいと考えています。



思川開発事業について伺う



質 問

南摩ダム建設事業の関連事業について伺う。

答 弁 (総務部長) ダム検証により約7年間休止していたため、現在の社会情勢等の変化も踏まえ見直しを進めています。

(仮称)ハーベストセンター整備事業に対しての要望書は、本年4月26日に上南摩町自治会及び上南摩町自治会南摩ダム対策委員会から市に提出されています。その内容は、1つ、建設場所は従来の計画どおり上南摩町とすること。2つ、温泉施設は湯量・泉質・湯温などをもと

から方針を決定したい」と回答しています。

に内容を検討する必要性があることから早期に掘削すること。3つ、上南摩町の特産であるそばを活用して遊休農地の解消や地域の活性化を図るため、そばの生産から農村レストランでの提供まで一貫した整備の支援をすることとということです。

(仮称)ハーベストセンター整備事業は、ダム検証により約7年間休止していたため、現在の社会情勢等の変化も踏まえて見直しを進めています。

このような状況を踏まえ、要望書への回答では、「いただきたい要望については、検討委員会において、地元の意見を伺いな



▲南摩ダム建設予定地

新市庁舎建設における主な  
設計テーマ・設計条件につい  
て伺う



**質 問**  
構造計画、平面計画について伺う。

**答 弁(市長)**  
市民対応スペースがより広く確保できるよう検討していきます。

基本計画の構造計画方針には、「大地震の際に、被害を最小限にするための構造体の性能が必要であるため、技術的に評価が高い『免震構造』の方式を導入することを基本とする」とされています。基本設計では、地質及び地歴調査も予定しており、その結果、新庁舎の階層、建築コスト、ランニングコスト

等を十分に考慮し、基本設計策定時に『免震構造』と『耐震構造』のどちらを採用するかは「鹿沼市新庁舎整備市民会議」の意見も聞きながら、決定をしていきたいと考えています。

躯体構造については、基本設計において、総合的に判断していくこととなりますが、鉄筋コンクリート造あるいは鉄骨造のどちらが採用されたとしても、CLT(直行集成板)の活用も含め、可能な限り木質化を図っていきたいと考えています。

次に、平面計画については、基本計画に「望まれる庁舎の整備する機能」として、「相談機

能の整備」、「交流・まちづくり機能の整備」を掲げています。「オフィス環境等調査」を反映し、休憩や交流ができるスペースや相談室などの市民対応スペースがより広く確保できるように検討していきます。

また、基本計画では、新庁舎の耐用年数を65年以上としており、「庁舎の維持管理」において、主な機能として「変更が容易な間仕切壁、メンテナンスや更新の容易な機械及び電気設備」等、庁舎のランニングコストに配慮した設計となるよう検討していきます。

子どもの視力・聴力に  
ついて伺う



**質 問**  
3歳児健診について伺う。

**答 弁(保健福祉部長)**  
視力検査・聴力検査とも、家庭での検査をお願いしています。

視力検査と聴力検査の方法について、視力検査・聴力検査とも、問診票と「絵視標」と「聴覚自己検査絵シート」を事前に郵送し、家庭での検査をお願いしています。視力検査では、2.5メートル離れた状態で左右の目を片方ずつ隠して「絵視標」の絵を答えさせる検査をします。聴力検査では、「聴覚自己検査絵シート」を用い、1メートル

離れて子供と向かい合い、口元を隠してささやき声で絵の名前を言い、その絵を指さしさせる検査をします。視力・聴力いずれの検査も、家庭でできなかった場合は、健診会場で保健師や看護師により再度検査を実施しています。

視力検査と聴力検査の2次健診結果の内訳ですが、平成28年度の視力検査の2次健診結果は24人の受診児のうち、異常なし12人でした。聴力検査の2次健診結果は、135人の受診児のうち異常なし73人でした。2次健診受診率は、平成28年度の視力検査は対象児52人中24人の受診で

40.7%、聴力検査では対象児217人中135人の受診で62.2%となっています。



▲「絵視標」と「聴覚自己検査絵シート」

谷中 恵子 議員

障がい者に住みよいまちづくりについて伺う



質 問

障がい者団体の現状とボランティア意識の啓発について伺う。

答 弁 (保健福祉部長) 障がい者団体は、市内に9団体あり、会員数の合計は314名です。

障がい者団体の現状について、市内の障がいのある方で構成されている団体は9団体あり、会員数の合計は314名です。このうち、最大の団体の会員数は93名、最小の団体は5名です。活動の概要は、最大会員数団体の主なものは、歩行訓練事業・宿泊研修・各種スポーツ大会参加等、最少会員数団体の主なも

のは、リハビリ教室・講座の受講・レクリエーション等です。市では団体の事務局を担っているほか、宿泊訓練やスポーツ交流会等の事業の委託や支援を行っています。本年度の予算は、団体への補助金総額が23万5千円、委託料総額は160万円です。

ボランティア意識の啓発について、ふれあいフェスタは、実行委員会を組織し、障がい者団体やボランティア団体が協力し、開催に向けた運営を独自に行っており、市は後援団体としてかかわっています。来場者数は、平成27年約2,000人、平成28年約1,000人、平成

ふれあいフェスタinかぬまとは

福祉やボランティア活動を正しく理解し、共に助け合う笑顔に満ちた社会を目指し、障がいのある人もない人も共に楽しみ、互いの理解と交流を深める「福祉の祭典」です。

当日は太鼓やマーチングバンドの演奏、模擬店のほか、車いす体験やアイマスク体験なども行われます。

大 貴 毅 議員

北小学校の耐震改修について伺う



質 問

北小学校の耐震改修について伺う。

答 弁 (市長) 耐震補強と長期的に校舎の使用ができるよう基本設計を策定し、改修方針を決定しました。

まず、校舎の耐震補強工事の内容について、「北小学校木造校舎耐震補強技術検討会」で大規模木造校舎の耐震補強が可能であることが明らかになりました。検討会では、耐震補強だけではなく、「校舎として使い続けること」、「現状の形をできるだけ残していくこと」、「児童が

過ごしやすい校舎であること」の3項目を基本方針とし、歴史的な価値を残すための技術的・法的な事項等についても検討してきました。昨年度は、耐震補強と長期的に校舎の使用ができるよう基本設計を策定し、改修方針を決定しました。南棟・北棟・特別教室棟は、内外壁や天井をはがし、筋交いを設置するほか、金物固定等の補強を行っています。西棟・トイレ棟・渡り廊下は、耐震化だけでなく、防火性能の向上を図るため耐火建築物に改築します。

補強に併せた改修は、老朽化した給排水管や照明器具等の更新、トイレの洋式化、給食用昇降リフトの設置等、今後校舎として使い続けていくため、また児童が過ごしやすい環境を整えるために必要な改修を予算の範囲内で優先順位をつけて行っていきたくと考えます。

今後のスケジュールは、着工は来年度を予定していますが、詳細な改修内容や工事費、工期等については、今年度実施設計を行い、決定していきます。

佐藤 誠 議員

鯉原 一男 議員

第7次鹿沼市総合計画について伺う

市役所の窓口改革について伺う



**質 問**  
生活保護と障がい者業務に関わる窓口のプライバシー保護が不十分であるので、来庁者のプライバシーに配慮した改善を提案し、今後の庁内各部署の配置について執行部の考えを問う。

**答 弁（財務部長）**  
1階の窓口新たにカウンター用仕切り板を13台追加設置しました。

庁内各部署の配置は、主に市民の利便性を向上させる観点から、組織機構の改編等に併せた配置変更を積み重ねた結果、現在のようなレイアウトに至っています。厚生課と障がい福祉課

**質 問**  
小中学校の長寿命化整備について、東小学校改修予定及び校舎内装改修工事について伺う。

**答 弁（教育次長）**  
東小学校を含めた学校施設全体の長寿命化を図るため、計画的に改修していく予定です。

東小学校改修予定については、東小学校のこれまでの大規模な改修実績は、平成22年度に屋内運動場耐震補強工事、平成23年度に校舎耐震補強工事、平成26年度から平成28年度の3カ年で校舎外装改修工事を実施してきました。今後の改修予定

では、利用者の状況を勘案し、長年にわたり現在の位置で窓口を開設していますが、相談内容に応じてカウンターでの対応と個室の相談室での対応に分けて相談業務等を行うことで来庁者のプライバシーに配慮しています。しかし、実施したオフィス環境等調査により「プライバシーに配慮したスペースが狭い」との報告を受け、関係課で協議をし、厚生課保護係や障がい福祉課などの1階窓口新たにカウンター用仕切り板を13台追加設置を行いました。

現状では、限られたスペースですが、来庁者のプライバシー

は、普通教室などへのエアコン設置と給水設備外改修工事の第1期としてトイレ洋式化を含むトイレ内のリニューアル工事及び老朽化した給水管などの更新工事を今年度実施します。また、屋内運動場は、雨漏りなど全体的に老朽化が見られるため、内外装の改修を次年度以降に計画しています。

次に、東小学校校舎内装改修工事については、校舎の耐震補強や外装工事は完了したものの、内装は老朽化している状況です。しかし、東小学校のほかにも老朽化している学校があるため、学校施設全体における長



▲市庁舎1階の窓口



▲東小学校

に配慮しながら、窓口環境の改善を図っていきたくと考えています。今後の新庁舎整備においても、来庁者目線による窓口相談のプライバシーを確保しながら、利便性が高く、市民が利用しやすい部署の配置となるよう検討していきます。

寿命化のための整備に優先順位をつけ、計画的に改修していく予定です。よって、将来的な課題として今後検討していきたいと考えています。

市長提出議案35件、議員提出議案1件が審議されました。  
議員数23名、表決参加議員数22名（議長は表決には加わりません。）

## 賛否の分かれた議案

議案64 鹿沼市農業委員会委員の任命について  
(15ページをご覧ください。)

<b>賛 成</b>	【公明党】 荒井正行・鈴木敏雄	<b>反 対 不 参 加 除 斥</b>	【自民党】 鈴木 毅・鰐原一男
	【自民党】 津久井健吉・増淵靖弘・赤坂日出男		【無所属】 佐藤 誠
	【経世会】 舘野裕昭・小島 実・湯澤英之・ 関口正一		【無所属】 石川さやか
	【民進党】 島田一衛・大貫 毅		
	【無所属市民クラブ】 加藤美智子・大島久幸・ 大貫武男・船生哲夫		
	【日本共産党】 阿部秀実 【親悠会】 市田 登・谷中恵子		



## 全議員が賛成した議案（可決）

専決処分事項（平成28年度補正予算）

議案34号 平成28年度鹿沼市一般会計補正予算（第4号）について

歳入については、市税、地方交付税、国県支出金、諸収入、市債等の増減額を計上し、歳出については庁舎建設基金積立金、財政調整基金積立金、臨時福祉給付金給付事業費、中小企業経営対策事業費、地方債償還利子等の増減額を計上したもので、この補正額を3億3,651万1千円の減とし、予算総額を403億7,660万2千円とするものです。

議案35号 平成28年度鹿沼市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について

歳入については、繰入金を増額を計上し、歳出については、これを国民健康保険準備積立基金積立金に計上したもので、この補正額を5,179万円8千円の増とし、予算総額を133億7,927万5千円とするものです。

議案36号 平成28年度鹿沼市公共下水道事業費特別会計補正予算（第4号）について

歳入については、繰入金、諸収入、市債の増減額を計上し、歳出については、下水道事務所管理費、地方債償還利子の減額を計上したもので、この補正額を1,730万円の減とし、予算総額を24億5,373万8千円とするものです。

議案37号 平成28年度鹿沼市農業集落排水事業費特別会計補正予算（第3号）について

歳出予算の更正として、農業集落排水管理事務費の増額を計上し、農業集落排水処理施設管理費を減額するものです。

専決処分事項（条例の一部改正）

議案38号 鹿沼市税条例等の一部改正について

地方税法等の一部改正に伴い、肉用牛の売却所得に係る市民税の免税期間の延長、優れた燃費性能を有する軽自動車に対する軽自動車税の税率軽減期間の延長等を行うためのものです。

議案39号 鹿沼市都市計画税条例の一部改正について

地方税法の一部改正に伴い、大規模地震が発生した場合における備蓄倉庫として管理協定が締結された倉庫に係る都市計画税の課税標準の特例の廃止等を行うためのものです。

議案40号 鹿沼市国民健康保険税条例の一部改正について

地方税法施行令の一部改正に伴い、低所得世帯に対する国民健康保険税の減額措置が適用される納税義務者の範囲を拡大するためのものです。

平成29年度予算

議案41号 平成29年度鹿沼市一般会計補正予算（第1号）について

歳入については、国庫支出金、繰入金、諸収入の増額を計上し、歳出については、協働のまちづくり推進事業費、こども発達支援センター整備事業費、観光施設整備事業費等の増額を計上したもので、この補正額を8,928万4千円の増とし、予算総額を382億3,928万4千円とするためのものです。

規約の変更

議案42号 栃木県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

栃木県後期高齢者医療広域連合の議員の定数を、人口数によらず市町ごとに定めることに伴う同広域連合規約の変更について、関係地方公共団体と協議するためのものです。

条例の一部改正

議案43号 鹿沼市議会議員及び鹿沼市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例及び鹿沼市長の選挙におけるビラの作成の公費負担に関する条例の一部改正について

公職選挙法施行令の一部改正に伴い、選挙運動における自動車の使用並びにポスター及びビラの作成に係る公費負担の額を引き上げるためのものです。

議案44号 鹿沼市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律施行条例の一部改正について

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、引用する同法の条項を整理するためのものです。

議案45号 鹿沼市高齢者福祉センター条例の一部改正について

高齢者福祉センターの附属設備に係る使用料を定めること等のためのものです。

条例制定

議案46号 鹿沼市芦の郷公園条例の制定について

大芦川の豊かな自然環境を生かした市民の憩いの場及び交流の場を創出することにより地域の振興を図るため、鹿沼市芦の郷公園を設置するためのものです。

人事

議案47号～49号 人権擁護委員候補者の推薦について

(15ページをご覧ください。)

議案50号 鹿沼市固定資産評価審査委員会委員の選任について

(15ページをご覧ください。)

議案51号～63号、65号～68号 鹿沼市農業委員会委員の任命について

(15ページをご覧ください。)

議員提出議案

議員案4号 新庁舎整備検討特別委員会の設置について

(15ページをご覧ください。)



鹿沼市や私たちの暮らしに関係することが議会で決定しました！

～未来を担う子どもを育むために～

## こども発達支援センターあおば園が増築されます。

■議案第41号 平成29年度鹿沼市一般会計補正予算（第1号）  
について

発達が気になる子どもの一人ひとりの発達段階に合わせ、運動、言語、生活習慣など、遊びや学びを通し、豊かな成長が遂げられるよう、様々な療育プログラムを実施している「こども発達支援センターあおば園」の増築が行われます。

施設は集団生活への適応やグループ指導を行う療育室及び専門スタッフによる発達相談や小児科医相談を行う相談室などが整備されます。

これにより、平成30年度から一日の利用定員の上限20人を30人とし、子どもやそのご家族に対する支援体制の更なる強化が図られます。



▲こども発達支援センターあおば園

～大芦川の豊かな自然環境を生かして～

## 鹿沼市芦の郷公園が整備されます。

■議案第46号 鹿沼市芦の郷公園条例の制定について

大芦川の豊かな自然環境を生かした市民の憩いの場及び交流の場を創出することにより地域の振興を図るため、栃木県が引田地区内に「鹿沼市芦の郷公園」の整備を進めています。

施設は、多目的屋内施設（ゲートボール場2面）、多目的広場（ヘリポート兼用）、管理棟（消防団用車庫、公衆用トイレ）、駐車場が整備されます。



▲鹿沼市芦の郷公園の整備の様子

～新たな農業委員会制度がスタート～

## 鹿沼市農業委員会委員が任命されました。

■議案第51～68号 鹿沼市農業委員会委員の任命について

平成28年4月1日からスタートした新農業委員会制度に基づく委員として、現任委員の任期満了に伴い18名の新農業委員会委員が任命されました。委員は、これまでの公選制から地域推薦・公募になり、市長が議会の同意を得て任命する方法に変わりました。

農業委員会は農地法の許認可事務だけではなく、これまで以上に担い手への農地集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、農業への新規参入の促進に積極的に取り組むこととなります。

また、農地等の利用の最適化の推進のため、担当地区における農地等の利用最適化の推進に熱意と識見を有する者のうちから、農地利用最適化推進委員を委嘱することになりました。

農業委員会委員と農地利用最適化推進委員は、鹿沼市の非常勤特別職公務員で、力を合わせて農地等の利用の最適化の推進のための活動を行います。



# 平成29年第2回 6月定例会の結果

定例会で人事等が決まりました。

## 人事

(敬称略)

本会議で人事が決まりました。(議案第47～68号)

人権擁護委員 (議案第47～49号)

鈴木 改子 (すずきかいこ・磯町)  
川久保 博 (かわくぼひろし・下粕尾)  
杉山 哲之 (すぎやまてつゆき・加園)

### ▶用語解説「人権擁護委員」

人権擁護委員法に基づいて、日本の各市町村に設置される非常勤職。法務大臣が委嘱する民間のボランティア。任期は3年で、再任も可能。給与の支給はないが、職務を行うために要する費用の弁償を受けることができる。日常生活の中で人権尊重思想の普及高揚を図るとともに、人権侵害による被害者を救済し、人権を擁護していく活動をしている。

鹿沼市固定資産評価審査委員会委員 (議案第50号)

出張 千史 (ではりちふみ・坂田山)

### ▶用語解説「固定資産評価審査委員会委員」

固定資産を適正に評価し、市町村長が行う価格の決定を補助するための委員。固定資産の評価に関する知識及び経験を有する者のうちから議会の同意を得て市町村長が選任する。

鹿沼市農業委員会委員 (議案第51～68号)

篠原 和夫 (しのはらかずお・武子)  
根本 和男 (ねもとかずお・上日向)  
牧島 俊男 (まきしまとしお・入粟野)  
大森 用子 (おおもりようこ・下永野)  
毛塚 欣伸 (けづかよしのぶ・下永野)  
廣田 和世 (ひろたかずよ・西沢町)  
益子 裕幸 (ますこひろゆき・北半田)  
村上 信吉 (むらかみしんきち・上殿町)  
奈良部 繁雄 (ならぶしげお・西茂呂2丁目)  
鈴木 克男 (すずきかつお・磯町)  
青柳 秀男 (あおやぎひでお・下久我)  
石川 喜治 (いしかわよしはる・野尻)  
福田 裕 (ふくだゆたか・亀和田町)  
塩入 佳子 (しおいりよしこ・朝日町)  
矢野 律子 (やのりつこ・板荷)  
豊田 道有 (とよだみちあり・富岡)  
福田 春男 (ふくだはるお・千渡)  
江俣 伸一 (えまたしんいち・上石川)

### ▶用語解説「農業委員会委員」

農地法の許認可事務や、担い手への農地集約・集積化、耕作放棄地の発生防止・解消、農業への新規参入の促進をするための委員。農業に関する識見を有し、農地等の利用の最適化の推進に関する事項その他の農業委員会の所掌に関する職務を適切に行うことができる者のうちから議会の同意を得て市町村長が任命する。

## 請願・陳情はこんな方法で

請願・陳情とは、市政全般について議会に実情の善処を要望することです。

そのうち議員の紹介があるものは請願になります。  
A4版、署名または記名押印して提出してください。

### 請願書

紹介議員 今宮 三男  
氏名 鹿沼 太郎

件名 ○○○○について  
要旨 ○○○○の△△に関する  
××を要望します。  
理由

平成 年 月 日  
鹿沼市議会議長様

請願人代表  
鹿沼市○○町○○番地○  
鹿沼 太郎 (印)

### ※注意事項

- ①鹿沼市の権限内の事務に限ります。
- ②要旨や理由は簡潔に記入してください。
- ③道路・水路等は地図または略図を添付してください。

## 特別委員会の設置

本会議で特別委員会を設置しました。(議員案第4号)

◇新庁舎整備検討特別委員会 (定数23人)

委員長	増淵 靖弘
副委員長	関口 正一
委員	全議員
付託調査事項	1. 新庁舎整備に関すること

委員会が付託された調査事項について、今後検討していきます。



# 議会からの お知らせ

## 栃木県市議会議長会の会長に就任しました。

平成29年4月10日に開催されました第293回栃木県市議会議長会議において、鹿沼市議会議長が会長に就任しました。併せて、関東市議会議長会の支部長と全国市議会議長会の理事を兼任します。

県内各市議会と連携を図り、議長会議や様々な意見交換の場を通して、共通の議題等の解決に取り組んでいきます。



## インターンシップを受け入れました！

7月4日(火)～7日(金)の4日間、栃木県立鹿沼商工高等学校のインターンシップ実習生を受け入れました。実習生2人は、会議録作成等の事務作業を体験しました。

議員の手助けをする仕事を体験して、たくさんの方が加わって議会が成立するということを学ぶことができ、とても勉強になりました。



## 議会カレンダー ～議事を傍聴しませんか～

8月	9月						
月	火	水	木	金	土	日	
8/21	22	23	24	25	26	27	
10:00 議会運営委員会							
28	29	30	31	9/1	2	3	
10:00 本会議(第1日) 提出議案の説明							
4	5	6	7	8	9	10	
		9:00 議会運営委員会 10:00 本会議(第2日) 議案質疑・一般質問	10:00 本会議(第3日) 議案質疑・一般質問	10:00 本会議(第4日) 議案質疑・一般質問			
11	12	13	14	15	16	17	
		10:00 総務常任委員会 環境経済常任委員会	10:00 文教民生常任委員会 建設水道常任委員会				
18	19	20	21	22	23	24	
		10:00 決算特別委員会	10:00 決算特別委員会				
25	26	27	28	29	30	10/1	
9:00 議会運営委員会 10:00 本会議(第5日) 採決							

※なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。詳細は議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせください。(電話63-2203)

## 政務活動費収支報告書等をホームページで公開！

市民に対して、政務活動費の執行状況を積極的に情報公開するため、議長に対し提出された収支報告書と領収書その他の証拠書類を議会事務局で閲覧することができます。

平成28年度分の政務活動費から収支報告書と領収書をホームページで公開しています。



## 表紙の写真は

鹿沼市議会文化・スポーツ・芸術振興議員連盟写真展に出品した中から、今回は荒井議員の作品を掲載します。

新緑の清々しさとヤグルマギクの可憐さが、初夏の彩りを感じさせる作品です。